

未来を拓く！

「北浦の燈火(ともしび)を消すな！」との言葉の紡ぎは、山口県北浦から生まれ人口減・過疎・衰退に抗い、躍動・活力を求める願望であり魂の発露でした。

そして、この言霊は、元内閣官房長官・前衆議院議員河村建夫さんによって確かな政治的主張として収斂され、その観念は鮮烈な輝きを放つに至りました。

しかし、熾烈を極めた戦いは、政治生命の断絶という予想だになかった痛恨事を生み出しましたが、他方では、依然として「人口減・過疎・衰退からの脱却」が、私たちに突き付けられた共通の課題として今なお厳存しています。

先達によって磨かれた「燈火を消すな」との政治思想は、広く県内を含む地方社会に共通する難問に光をあて、究極的には大都市偏重の統治機構を改革する以外にはないことも炙(あぶ)り出しました。

ここ宇部市では、過疎衰退という負の社会・経済構造を下地として、県議選無投票という政治劣化をも生み出し、加えて、山口三区をめぐっては、「地位を利用した選挙違反」が発覚し、捜査は山口市役所幹部や山口県副知事に及び政治劣化を極めていきます。

私は、過疎衰退の社会構造の改革に挑戦し、又、三度目の無投票選挙という政治劣化を防ぎ、代議制民主主義の機能に一石を投ずる為に今般の県議補選に立候補を決意しました。

挑戦!! 県政に活力を! 過疎・衰退にストップを!!

1. コロナから命を守る政治を発展させ進化させます。
2. 急速なデジタル社会に対応困難な高齢者などを強気にサポートする県政を造ります。
3. 観光資源やインフラ整備(県道整備)を促進して観光資源の充実を図り県政を活性化させます。
4. 県立大学宇部キャンパスと保健看護専門学校の新設を構想し、県内に広く人材を供給し県政活性化を目指します。
5. 住宅用バイオマス・再生エネルギー設置に対する県独自の融資保証制度を新設し、県政を活性化させます。

佐々木信夫(ささきただお)プロフィール

略歴

昭和26年3月 阿武郡篠生村立三谷小学校卒業
昭和29年3月 阿武郡地福村立地福中学校卒業
昭和34年3月 島根県立津和野高等学校卒業(在学中生徒会長)
昭和50年3月 立正大学経済学部経済学科卒業(36歳)
昭和52年3月 駒澤大学大学院法学研究科修士課程修了(38歳)
昭和56年3月 千葉商科大学大学院商学研究科修士課程修了(42歳)
昭和60年3月 早稲田大学大学院法学研究科博士課程研修生(46歳)

主な政治歴 ①衆・参議院議員選挙7回出馬、山口市長選挙立候補
②自由連合(元)山口県代表、元税理士

現職 次世代のための自由福祉党代表 社会福祉法人 出雲王朝理事長



次世代のための
自由福祉党
公認

ささきただお

魅力あるまちづくりを

- * 子育て支援に向けた取り組み
- * 営農意欲の向上に向けた取り組み
- * 宇部に道の駅を
- * 環境に配慮したごみ処理施設の推進



市議の間に経験したこと、
学んだこと、頂いたご縁に
女性の視点を活かし、
県と市のパイプ役として
お役に立てるよう頑張ります。

自民党公認候補

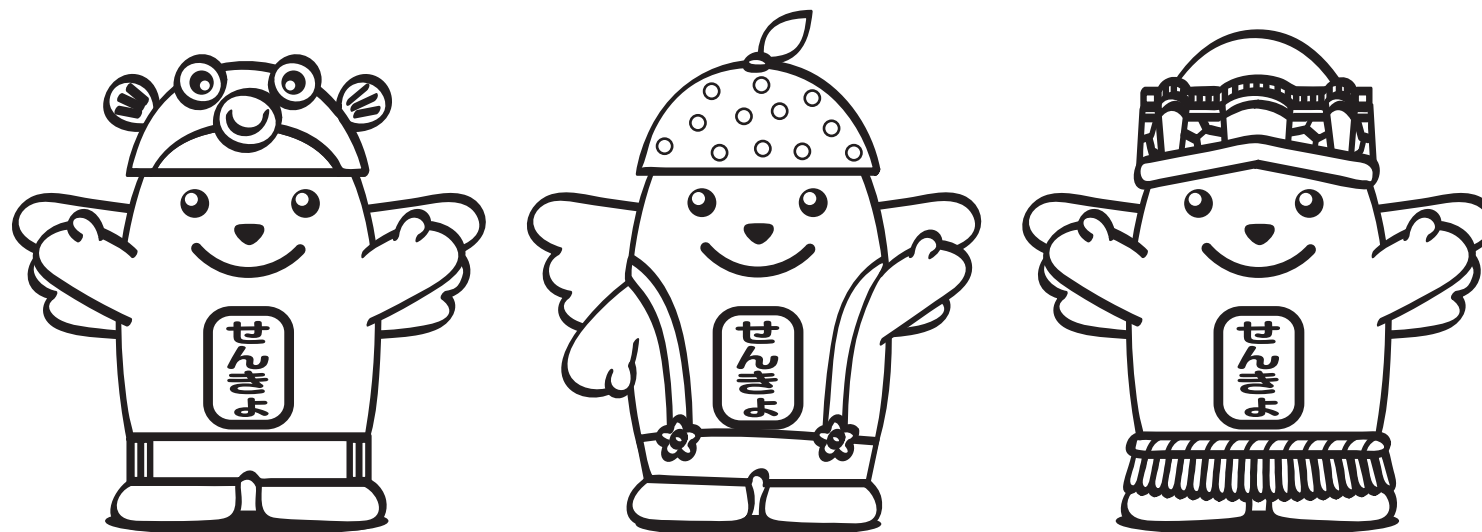
高井ともこ

宇部市、山口県のため、全力でチャレンジいたします

山口県議会議員補欠選挙

(宇部市及び光市選挙区)

2月6日(日)



ご当地めいすいくん めいすいくんスマイル隊

選挙特設サイト

<https://www.yamaguchi-kenchiji2022.net>



山口県選挙管理委員会